

Title	オプション価格より導くインプライド確率分布の活用
Sub Title	
Author	勝澤美代子(Katsuzawa, Miyoko) 和田賢治
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2001
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2001年度経営学 第1676号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002001-1676

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	和田 賢治 研究会	学籍番号	80028270	氏名	勝澤 美代子
(論文題名)					
オプション価格より導くインプライド確率分布の活用					
(内容の要旨)					
<p>株をはじめとする金融商品の市場価格は、投資家が現時点で将来の株価水準に対して抱く期待を反映したものである。当研究では、オプション価格から、投資家の期待する原資産価格の水準の確率分布であるインプライド確率分布を推定することで、投資家の期待の分析を行う。これまで、オプションのインプライド確率分布については対数正規分布など何らかのパラメーターを設定し研究されることが多かった。しかし、実際の確率分布と一致するかは定かでない。ここではノンパラメトリックな確率分布の形で求めることで、投資家が抱く期待をより正確に読みとることを試みる。</p> <p>具体的には、日経平均株価オプションを用いて、日経平均株価に対する投資家の期待動向を分析する。当該オプションを題材にした既存研究として、1989年から1995年の期間について有限差分法を用いてノンパラメトリックなインプライド確率分布を求め、そのモーメント（標準偏差、歪度、尖度）の時系列変化を観察した研究がある。当研究では、株価下落に対する投資家の期待動向を分析するため、1997年のアジア通貨危機の時期をとりあげる。その期間におけるノンパラメトリックなインプライド確率分布を求め、そのモーメントの時系列分析を行う。さらに、当研究ではモーメントの動きを観察するのみではなく、モーメントの変化が統計的に有意であるかを検定し、インプライド確率分布の分析が、期待動向分析に有効であることを示す。また、当分析をリスクヘッジに用いるなどの活用の可能性について考察を行う。</p>					